

仕 様 書

1. 事 業 名

檜葉町復興祈念イベント運営事業

2. 事 業 目 的

東日本大震災・原発事故から平成27年3月をもって丸4年が経過することを機に、町民が一堂に集い、檜葉町の復旧・復興の進展状況を実際に目で見て感じていただき、町民生活とまちづくりの「明日」を考える機会とするともに、町民相互、さらには町外の方とも絆を感じあい、もって帰町や復興に向けた機運を高めることを目的にイベントを開催する。

3. 業 務 委 託 期 間

契約締結日～平成27年3月20日

4. 事 業 概 要

(1) 主 催

檜葉町復興祈念イベント実行委員会

(2) 共 催

檜葉町、一般社団法人ならはみらい

(3) 後 援 (予定)

福島復興局、福島県、双葉郡町村会、会津美里町、檜葉町商工会、
財団法人檜葉町振興公社、檜葉町体育協会 等

(4) 開 催 予 定 日

平成27年3月14日(土)

(5) 開 催 場 所

檜葉町内

・檜葉南小学校

※檜葉中学校(現在建築中)が使用可能となった場合は、同体育館及び校舎で開催する。

・ここなら商店街

・あおぞらこども園

(6) 目 標 集 客 数

1,500人程度

(7) 開催時間

9時45分～15時

(8) 参加料

無料

(9) 開催内容

本事業の目的に沿って、「①聴く、考える」、「②食べる」、「③参加する」のキーワードに基づき、町内の各開催場所にて以下のプログラムを行う。このほか、委託事業者から提案のあったプログラムの実施については、町との協議や実行委員会における審議を経て決定する（以下、★印のプログラムに係る経費については、本事業の対象外とする。）。

実施事業の詳細については、実行委員会及び作業部会にて審議・決定する。

【体育館】

○震災からの復興等をテーマとした著名人等による講演・シンポジウム

○展示コーナー

(一例)

- 町のこどもたちによる創作物（あらかじめテーマを設定して創作した絵画・作文・写真等）の展示・発表
- 仮設住宅等におけるサークル活動等や町民個人による日頃の創作物の展示・発表
- 町の復旧・復興への取組等を紹介したパネル展示

○震災のあった時刻（14：46）に、参加者全員で復興を祈念

【校舎】

○震災をはじめ自然災害を乗り越えようと活動した（活動している）被災地のキーパーソン等による座談会

(一例)

- 檜葉町と境遇の似た被災地（三宅島、いわき市等）において人々の絆づくりや地域の復興・再生に尽くしたボランティア、役場職員、商工関係者、学識経験者等の語り手が、パネル・写真展示や映像上映等をもとに自身の活動や苦労話などを紹介し、参加者と双方向の意見交換・交流を図る

○NPO・支援団体等と連携しながら、参加者それぞれの様々な考えに耳を傾け、自身を考えるきっかけづくりや出会いの場としてのワークショップ

○創作コーナー

(一例)

- 各地で被災者支援活動を行っている「LOVE FOR NIPPON」によるキャンドルづくり等

○檜葉中学校卒業生による同窓会の開催を呼びかけ、一定程度の参加者が集まった学年のために場を提供し、参加者の絆を再確認できるような企画・演出

(一例)

- 現在に至るまでの通学当時の写真、卒業アルバム、部活動の横断幕・ユニフォーム等の展示
- 恩師との再会や参加者全員での校歌斉唱
- 檜葉町に関するクイズの出題

○来場者参加型の健康教室

(一例)

- 長引く避難生活による運動不足やストレスの解消をテーマとした体操やミニ講座等

○各種相談受付ブース

(一例)

- 住宅再建・生活再建・放射線等に関する相談や支援策の紹介

【体育館又は校舎】

○復興祈念メッセージ

(一例)

- 参加者にそれぞれの想いやメッセージを寄せ書きしてもらい、メッセージツリーを制作し掲示

【校庭】

○飲食ブース (★)

(一例)

- 夜明け市場 (いわき市) とのコラボレーションや手打ちそば (会津美里町) などの、檜葉町にゆかりのある地域のうまいもの ※1

○その他、NPO やボランティア団体等のブース ※2

※1 檜葉中学校が使用可能となった場合は、ここなら商店街にブースを集約する

※2 檜葉中学校が使用可能となった場合は、校庭にはブースを設置しない

【ここなら商店街】

○飲食ブース (★)

(一例)

- 震災前に町内で営業していた飲食店のメニューが一日限定で復活

○ここなら商店街ペイントプロジェクト

(一例)

- いわき市で活動する「ユアサミズキ氏」のプロデュースによる、来場者参加型のライブペイント

【その他】

○檜葉町の復旧・復興の状況を見ていただく“まちめぐりバスツアー”（★）

（一例）

- 浜通りの高校生で結成する“TOMOTRA”（友達×トラベル）とのコラボレーションにより、若い世代目線で町民を檜葉町内に案内するバスツアー

5. 業務内容

本事業の実施に必要な以下の業務を行うこととする。このほか、業務内容に関する委託事業者からの提案については、町との協議や実行委員会における審議を経て決定する。

（1）本事業の管理・運営

本事業開催までの全体的なスケジュールの作成及びその管理を適切に行う。また、当日の会場運営・本部業務を行う。

（2）本事業の企画

本仕様書に基づき、具体的内容について企画・立案を行う。その際、関係機関や民間団体、町民等が参画する実行委員会を組織し、その運営を行う（委員等への謝金・旅費の支給は発生しない）。

実行委員会は、平成26年12月に組織（構成員は檜葉町復興推進課で選定する。）し、以降イベント当日までに数回開催する。

このほか、具体的な企画内容を立案する作業部会を設置し、その運営を行う。

（3）会場設営・撤去

「4.（9）」に記載のある内容を行うために必要な会場の設営及び撤去を行う。

【体育館】

・音響設備 等

【校舎】

・教室
・休憩所 等

【校庭】 ※3

・音響設備 等

※3 檜葉中学校が使用可能となった場合は、校庭は使用しない

【ここなら商店街】

・音響設備 等

【檜葉町コミュニティセンター】

・休憩所 等

(4) 出演

本事業の実施に必要な人物（司会、講演等を行う著名人、その他出演者）に関する手配・調整等を行う。

(5) 駐車場設営・撤去等

本事業に必要な以下の駐車場の設営、運営（誘導員の配置、テント・折りたたみ椅子の用意等）及び撤去を行う。駐車場は檜葉町総合グラウンド及びあおぞらこども園を想定。

また、メイン会場と駐車場・木戸駅（又は竜田駅）とを結ぶシャトルバスの手配、運行を行う。

(6) 参加者の輸送方法の検討及び送迎バスの運行

以下の地点と会場間の参加者の安全かつ円滑な輸送方法については、委託事業者による提案に基づき町との協議を経て決定するとともに、これに必要となる送迎バスの手配、運行等を行う。また、送迎バスは事前予約制とし、申込みの受付業務を行う。

- ・高久仮設住宅、飯野仮設住宅
- ・上荒川仮設住宅、作町仮設住宅、四倉細谷仮設住宅
- ・相子島仮設住宅、林城仮設住宅、常磐銭田仮設住宅、内郷白水仮設住宅
- ・福島駅、郡山駅
- ・会津美里町宮里仮設住宅 等

(7) 制作

本事業に必要な以下の看板等を制作し、設置及び撤去を行う。

- ・メイン看板
- ・案内看板（駐車場、会場内等）
- ・アーチ看板 等

(8) 物品手配

必要な消耗品等の手配、設置及び撤去を行う。

(9) 会場整理等

本事業を安全・円滑に運営するための会場整理に必要な人員（誘導員等）を配置する。

(10) 案内チラシ・ポスターの印刷・送付等による周知

本事業に係るポスター、チラシを作成・印刷し、檜葉町民への郵送等の周知を行う。

(11) その他企画の実施・運営

「4. (9)」に基づき実施する企画の運営を行う。

6. 成果物の作成

本業務完了後、成果物として以下の事項について記載した業務報告書を檜葉町復興推進課へ提出することとする。

- (1) 来場者数
- (2) 当日の写真
- (3) 開催結果報告

7. 成果物の納入場所
檜葉町復興推進課

8. そ の 他

本仕様書の記載内容に変更の必要が生じる場合には、檜葉町復興推進課と受託事業者の協議により決定していくこととする。

【参考】位置図

